

第五十二回

岡山後楽能

2022年

11月3日(木・祝)

岡山
後楽園
能舞台



田賀屋夙生
夫藏流狂言方能楽師



有松遼一
高安流ワキ方能楽師



大鳥衣恵
喜多流シテ方能楽師

おかやま県民文化祭参加

第52回 岡山後楽能

令和四年十一月三日(木・祝)

十一時三〇分開場

岡山後楽園能舞台

第一部 十二時始

独吟・仕舞・舞囃子等

喜多流大島会

休憩

第二部 十三時四十五分始

解説(本日の演目について)

大島輝久

狂言 石神

夫 田賀屋夙生

女房 島田洋海

仲裁人 網谷正美

後見 鈴木実

小鼓 横山幸彦

笛 八木原周平

十五時前頃

後シテ(霊狐) 前シテ(童子) 大島衣恵

能 小鍛冶

ワキ(宗近) 有松遼一

白頭 ワキツレ(勅使) 岡 充

アイ(末社の神) 鈴木実

大鼓 守家由訓

太鼓 梶谷義男

小鼓 横山幸彦

笛 八木原周平

後見

高林呻二
高林昌司

地謡

大島輝久
出雲康雅
大島政允
塩津圭介

■ 曲目解説

□ 狂言「石神(いしがみ)」

常々妻から離縁して暇がほしいと懇願されている夫は仲裁人とその仲裁を頼みます。また女房は暇乞いが叶わず家出をし、仲裁人にその旨を伝え、これより親里へ戻ると話すと、仲裁人は夫から仲裁を頼まれていることから、出雲路の石神である夜叉神にその心を占って定めて貰うよう進言します。女房はそれに従い、出雲路の夜叉神の所へ行くと、そこには石神の姿になりすました夫がいますが……。

女房は巫女の子孫であることから、石神の神前にて神楽を舞う場面が出て参ります。小鼓と笛だけで舞う他の狂言にはない珍しい演出です。

□ 能「小鍛冶(こかじ)」

夢のお告げを受けた一条天皇は勅使を遣わし、三条宗近に御剣を打てと命じます。実力ある相鎚がない宗近は答えに窮しますが辞退はできません。宗近が神仏の加護を願って稲荷明神に参詣すると、一人の童子が現れ草薙剣の故事などを物語り、此度の御剣もそれに劣らぬ剣になると励まし神の助力を予告して姿を消します。

宗近が自宅に祭壇を築き祈りを捧げていると、霊狐が現れて相槌を務めます。神の助けを得た宗近は、天下無双の剣「小狐丸」を打ち上げ朝廷に献上し、霊狐は稲荷山へと帰ってゆくのでした。

本日は小書(特殊演出)白頭で上演いたします。喜多流独特の狐足といわれる足遣いにもご注目ください。

チケット販売窓口

岡山後楽園 TEL.086-272-1148

天満屋バスステーションチケットセンター
TEL.086-231-7679

ぎんざやプレイガイド TEL.086-222-3244

喜多流大島能楽堂 TEL.084-923-2633

チケットぴあ TEL.0570-02-9999

※後楽園入園券は付きません (Pコード:513-935)



※後楽能YouTubeチャンネル

当公演の能・狂言の解説動画がご覧になれます→

www.youtube.com/channel/UCsEUmwNG5RP5P7XQPdt9IZw

主催 岡山能楽振興会 共催 岡山県 後援 岡山県教育委員会 山陽新聞社 岡山県郷土文化財団

問い合わせ 岡山後楽園 TEL.086-272-1148 www.okayama-korakuen.jp 喜多流大島能楽堂 TEL.084-923-2633 www.noh-oshima.com